

---

# 待つ快樂

春海

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】  
待つ快樂

【Nコード】  
N0145G

【作者名】  
春海

【あらすじ】  
君からのメールを待っている間に思ふこと

一年があつという間に過ぎるようになってしまった。  
二十歳。

19の頃はもう少し1日を長く感じていたのだけれど。

今、この時間をとても長く感じているのは、好きな人からの返事を待っているから。

何度も読み返す。君からのメール。君へのメール。

返事が途切れてから数十分。

君はもう寝てしまったのだろう。

それでも、もしかしたら返ってくるかもしれないという淡い期待が胸から消えずにうるついている。

どーせ終わってしまうなら、あたしからメールを終わらせれば良かった。

君が眠りたそんなことは、なんとなくわかっていたんだよ。

もう一通、もう一通と欲張っているうちに君は寝てしまった。

どうせならもう少し良い子で終わりたいかな。

こんな時間までごめんなさい、ありがとうって、お礼だつて言えていないのに。

返事が来なくなった今は、君があたしのことを面倒くさく思わないことを祈るばかり。

期待してしまうんだよ。

君が返事を返してくれると。

君もあたしとの会話を楽しんでくれているようで舞い上がってしまった。

だからあたしからメールを始める時は、といつても大体がそうだけれど、三通くらいで終わらせるつもりで送っているんだ。

なのに君が新しい話題を振ってくるから、何時間もメールを続けてしまっんだよ。

でも、今日のあたしは偉かったでしょ。

君とあの子とのことを聞き出さなかった。

聞きたいことも、聞き出すタイミングだっていっぱいあったのに。

ほんとはね、一回文章を作ったんだ。

でもやっぱり消した。

こういうことは詮索しない方が良い女だと思ったから。

だから今日のメールでのあたしは優等生だったってことで、後悔はしていない。

いつもなんだかんだで後悔してしまう。

メールしなきゃ良かったなって。

ついつい調子に乗ってしまうから。

それでも送ってしまうのは、君のメールを待ちたいからなんだよ。

君からのメールを待っている間、一秒が永遠になる。

早い早い毎日の中で、そこだけ切り取られてどこかに貼り付けられる。

そして君からのメールを受信している最中のあの数秒間、あたしは絶頂に達することができるんだ。

待つことへの快樂の中毒者となってしまうたあたしは、また君にメールを送ってしまう。こんな時間まで本当にごめんね。

寝坊しないだね。

ありがとう。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0145g/>

---

待つ快樂

2011年1月13日07時25分発行